

日本海溝・千島海溝沿いにおける異常な現象の評価基準検討委員会

○趣旨

中央防災会議防災対策実行会議の下に設置された「日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震対策検討ワーキンググループ」（以下WG）では、日本海溝・千島海溝で想定すべき最大クラスの地震・津波に対する被害想定や防災対策の検討を進めてきた。

今般、防災対応に資する情報発信等の必要性を検討するために、南海トラフと同様の仕組みとして、M8程度の地震が発生する「半割れケース」、M7程度の地震が発生する「一部割れケース」、異常な地殻変動が観測される「ゆっくりすべりケース」に該当する現象の評価基準を明確にし、科学的観点から各ケースに該当する現象の評価基準を検討する委員会を、WGの下に設置。

○論点

- ・日本海溝・千島海溝沿いにおいて、南海トラフと同様の仕組みとする各ケースに該当する現象とその基準

○検討スケジュール

- ・2021年8月23日 第1回検討委員会
- ・年内 報告書とりまとめ

○メンバー

委員	所属
◎山岡 耕春	名古屋大学大学院環境学研究科附属 地震火山研究センター 教授
井出 哲	東京大学大学院理学系研究科 教授
大園 真子	北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター 准教授
小原 一成	東京大学地震研究所 教授
汐見 勝彦	防災科学技術研究所地震津波防災研究部門 副部門長
杉岡 裕子	神戸大学海洋底探査センター 教授
谷岡 勇市郎	北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター 教授
津村 紀子	千葉大学大学院理学研究院 准教授
畑中 雄樹	国土地理院地理地殻活動研究センター長
堀 高峰	海洋研究開発機構 海域地震火山部門地震津波予測研究開発センター長
松澤 暢	東北大学大学院理学研究科附属地震噴火予知研究観測センター 教授
三宅 弘恵	東京大学地震研究所 准教授
宮澤 理稔	京都大学防災研究所 准教授

◎：座長、以下50音順